

鳥取県留学生交流推進会議

事業名	鳥取県を学びの場とする鳥取フィールドスクール事業				
実施期間	2015年5月24日～2015年9月26日				
場所	鳥取市、智頭町				
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	関係者	合計
	70名	90名	8名	14名	182名

<実施内容>

- ①5月24日(日)智頭町「ケニアに送るお米の田植作業」に留学生24名、日本人学生1名、地域住民30名、教職員4名が参加
- ②8月14日(金)「鳥取しゃんしゃん一斉傘踊り」に留学生30名、日本人学生2名、地域住民10名、教職員7名が参加
- ③9月26日(土)智頭町「ケニアに送るお米の収穫作業」に留学生16名、日本人学生5名、地域住民50名、教職員3名が参加



ケニアに送るお米の田植え作業



鳥取しゃんしゃん一斉傘踊りで傘踊りを披露



ケニアに送るお米の収穫作業

<参加者からのコメント>

薛鈺臻さん(台湾)/HSUEH YU-CHEN

私は今年で、智頭町におけるアフリカに送るお米の田植えに三回目の参加となりました。この活動を知ってから毎年田植えのシーズンになると、いつもわくわく田植え活動の申込みを待っていました。智頭町は様々な国際交流活動を行っています。私も数回智頭町を訪れた機会を通じて、緑の山に囲まれ、清い水が流れている豊かな自然環境がある智頭町がとても印象的でした。このイベントを通じて、様々な国の留学生たちが日本の鳥取県智頭町に来て、自ら苗は植え、お米ができれば海を渡りアフリカの人々に届きます。この活動で私たちも世界の様々な人々と繋がりを持つようになったのではないかと思います。このような国際交流を今後も大勢の人々に知らせ、互いの稲作文化あるいは食文化について交流を行い、盛り上げられればいいなと思っています。

于 超さん(中国)/YU CHAO

2015年8月14日に、世界最大の傘踊り、第51回鳥取しゃんしゃん祭りが行われた。その日、留学生、日本人学生、先生及び社会人が鳥取大学の踊り子隊となって、一緒に町を沿って、大勢の観衆の応援の下で、笑顔で踊りながら最後まで楽しんだ。自分自身は外国人として日本に来て初めてこんな大事でにぎやかな祭りに参加できて、人生にとって永遠に忘れがたい経験になって、きっと一生の良い思い出になると思う。最後に、感謝したいのは、私たちに非常に優しく踊りを教えてくださった師匠である。また、踊りを練習している時に、いつも留学生たちの出席を取って下さったり、食べ物や飲み物を持って下さったり、本番で色々準備して下さった国際交流課の先生たちに感謝します。留学生たちに色々なイベントに参加させて、日本文化を体験させたり、学ばせたり、視野を広げさせたり、事実の日本を理解させたりしていると思う。